

## これまでいただいた主なご意見及びその対応

No	分野	ご発言者	ご意見	対応	素案該当 ページ
1	現況推計	小倉委員	産業部門の算出方法を国のマニュアルとは異なる算出方法に変更するのであれば、計画に算出方法を明記すべき。	算出方法を明記しました。	46
2		杉本委員	推計方法を変更するなら、基準年度から変更後の推計方法で算出すべき。	変更後の推計方法で基準年度からの CO <sub>2</sub> 排出量を算出しました。	24～
3	削減目標	小倉委員	再エネは、太陽熱や風力など、太陽光以外のエネルギーも検討すべき。	当市にポテンシャルがある太陽熱を取り入れました。	56
4	基本目標	とくたけ委員	「チャレンジ」という表記では軽い印象。温暖化が緊迫していることが伝わるような基本目標にすべき。	基本目標は現在複数案を検討中です。（資料 1 - 2 参照）	15
5	施 策	杉本委員	施策の目標を達成することで削減される CO <sub>2</sub> が積み上がり、全体の CO <sub>2</sub> 削減目標が達成できるような構成にすべき。	施策の目標による CO <sub>2</sub> 削減量を明記しました。	77～
6		石原委員 小山田委員	緑化を推進するような施策を進めていくべき。	取組項目に盛り込みました。	64
7		とくたけ委員	再エネも重要だが、断熱も非常に重要である。計画的に断熱化を考えていくべきであり、市民にも周知すべき。	重点施策の省エネ化で検討して参ります。	69～
8		ほとだ委員	長期的に出来ること、短期的に取り組むことを分けて考え、公共施設への太陽光発電設備の設置など短期的に出来る事業が増えてくると良い。	短期目標（2030 年度）に向けて施策を推進するとともに、中期目標（2035 年度）も念頭に行きながら推進していきます。	50
9		沢田委員	耐用年数が過ぎたソーラーパネルの付け替えに関する補助も検討してほしい。	再エネ導入の強化の中で検討して参ります。	70

No	分野	ご発言者	ご意見	対応	素案対象 ページ
10	市域外 電力	石原委員	市内での省エネ、再エネでは目標に足りないから市域外から再エネ由来電力を購入するのは、「足りないから他で穴埋めする」というような印象がある。	各施策による CO <sub>2</sub> 削減目標を掲げましたが、目標以上の削減を目指し、出来るだけ市域外からの購入を少なくしていきます。	78
11	市民意識	石原委員	当事者意識を持つよう市民の意識を変えることは非常に重要であるため、計画へ反映していくべき。	行動変容の促しを重点施策にしました。	72
12		とくたけ 委員	環境意識が高くない人へのアプローチをしていくべき。	行動変容の促しを重点施策にしました。	72
13		道下委員	スーパーで食品トレイ等を回収できる店舗が増え環境を考えるきっかけになる。市のみで取り組むだけでなく、店舗や企業の協力も借りて取り組むべき。	行動変容の促しを重点施策にしました。	72
14		石原委員	食用油の回収、ソーラークッカーのキャンペーンやソーラーシェアリング等の施策は直接 CO <sub>2</sub> 排出量の削減数値に結びつかないかもしれないが、長い目で見れば大切なことであるため、検討していくべき。	今後、行動変容の促しの中で検討して参ります。	72
15		沢田委員	具体的に長期的に進めていく上で、情報と教育が最も大事だと思う。食用油の回収やごみの分別に関する場作りなどは非常に有効である。	今後、行動変容の促しの中で検討して参ります。	72
16		とくたけ 委員	気候非常事態宣言を出して、市民の目に触れるところに非常事態だということを宣言してもらいたい。	今後、行動変容の促しの中で検討して参ります。	72
17		道下委員	市民意識を測るアンケートの対象を無作為にするのか環境団体にするのかで数値が異なるので注意すること。	アンケート方法は引き続き検討してまいります。	72
18	その他	ほどだ委員	第二次計画と第三次計画案の変更点が分かるようにしてほしい。	今回の資料で主な変更点が分かるよう対照表をご用意しました。	(資料 1-3)